

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（東海第二（1007））
2. 日時：平成30年6月4日 18時00分～18時12分
3. 場所：原子力規制庁 8階会議卓

4. 出席者

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

矢野審査チーム員、高嶋原子力規制専門員

事業者：

日本原子力発電株式会社：発電管理室 プラント管理グループ 主任

5. 要旨

- (1) 日本原子力発電株式会社から、平成26年5月20日に申請、平成29年1月24日及び平成30年2月13日に一部補正のなされた東海第二発電所の工事計画認可申請について、当該申請書に係る補足説明資料の一部が提出された。
- (2) 原子力規制庁から、事業者の準備が整ったものからヒアリングを進め、必要に応じて指摘を行っていく旨を伝えた。
- (3) 日本原子力発電から、了解した旨の回答があった。

6. その他

提出資料：

- ・ 日本原子力発電株式会社 東海第二発電所 工事計画審査資料 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（代替燃料プール冷却系）（本文）
- ・ 日本原子力発電株式会社 東海第二発電所 工事計画審査資料 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（代替燃料プール冷却系）（添付書類）
- ・ 発電用原子炉施設の火災防護に関する説明書
- ・ V-2-2-4 使用済燃料乾式貯蔵建屋の地震応答計算書
- ・ V-2-2-5 使用済燃料乾式貯蔵建屋の耐震性についての計算書
- ・ V-2-11-2-13 使用済燃料乾式貯蔵建屋上屋の耐震性についての計算書
- ・ 建物・構築物の耐震計算についての補足説明資料 補足-370-13【使用済燃料乾式貯蔵建屋の耐震性評価に関する補足説明】
- ・ V-3-2-6 クラス3容器の強度計算方法

- ・ 工事計画に係る補足説明資料 安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書のうち 補足-40-13【自主対策設備の悪影響防止について】
- ・ 耐火壁の溢水防止機能について
- ・ DB／SAの対比表（火災防護設備）
- ・ 日本原子力発電株式会社 東海第二発電所 工事計画審査資料 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（燃料プール冷却浄化系）（本文）
- ・ 日本原子力発電株式会社 東海第二発電所 工事計画審査資料 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（燃料プール冷却浄化系）（添付書類）
- ・ 日本原子力発電株式会社 東海第二発電所 工事計画審査資料 原子炉冷却系統施設のうち 残留熱除去設備（残留熱除去系）（添付書類）